

令和7年度 三保まちづくりセンターの主な取組

事業名

きらめき！子ども体験教室 （はまだっ子共育推進事業）

P

●事業実施に至った背景、目的

- ・三隅地域の豊かな自然や、ひと・もの・ことに触れ実際に体験することでふるさとへの愛着を育む。

●事業を実施するまでの過程(関係機関との打合せ等)

- ・センター職員間で企画・運営についての会議
- ・各事業の講師に依頼し、日程調整やその他詳細打ち合わせ。
- ・移動手段の確保。
- ・各依頼先へ参加者人数等の報告。
- ・事業実施（夏休み期間）

D

●事業の概要

【B&G カヌー体験と海辺の教室】

- ・指導員に漕ぎ方を教わり、カヌーに挑戦する。またカヌーを楽しむ。
- ・ライフジャケット着用の有無を体験し、着用の必要性や海辺の安全について学ぶ。

【座禅体験&ブルーベリー狩り】

- ・座禅の意味や良い効果が期待できること等を聞き、実際に座禅を体験する。（龍雲寺）
- ・ブルーベリーの種類や味、収穫方法を聞き、ブルーベリー狩りを楽しむ。（柳青ブルーベリー庭）

【木工教室】

- ・ものづくりを楽しむ。また地域や環境について知るきっかけとする。

C

●事業実施後の振り返り

- ・夏休み期間で、多くの子どもたちに参加してもらうことができ、三隅地域のひと・もの・ことに触れる良い体験ができた。
- ・また参加したい、いろんなことが知れてよかった、家族と行ってみたいなどという意見が多かった。
- ・計画では時間に余裕やゆとりを持つことと、事業に関わる人を増やすこと。

A

●今後の方向性

- ・計画や準備に時間をかけ、事業に関わる人を増やす。
- ・共育事業にかかわらず、地域のひと・もの・ことに興味関心を持ってもらえるよう人との関わり、つながりを大切にする。
- ・若い世代を巻き込む。

